



# STOP! 介護崩壊 介護ウェブ 2009 推進ニュース

## — 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

**取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!**

### いまこそ「介護の社会化」の実現を! 宣伝・署名行動「介護110番」の取り組み!(東京)

#### とげぬき地蔵尊のおまつりで賑わう巣鴨地蔵通り商店街で宣伝・署名行動

中央社保協、「介護をよくする東京の会」などのよびかけで11月4日の午後、とげぬき地蔵尊のおまつりで賑わう巣鴨地蔵通り商店街で「介護保険制度の改善」「介護保障の拡充」を訴え、宣伝・署名行動を行ないました。東京民医連など各団体から30名が参加し、短時間で署名51筆が寄せられました。「ヘルパーの賃金を上げないと介護をよくならない」など、励ましもいただきました。また、11月11日～12日「介護なんでも110番」のチラシを配布しました。



#### 「介護署名なんでも110番」切実な相談に対応

11月11～12日の2日間、全労連・中央社保協・東京介護をよくする会の共催で「介護なんでも110番」を実施しました。2日間で35件の電話相談がありました。その内訳は、①施設利用の困難、退院後の行き場がないなど9件、②介護保険の申請や制度利用について7件、③家族の困難など7件、④雇用問題、就業条件など7件、⑤その他5件でした。介護保険が十分活用されていないことと「介護の社会化」にはほど遠い現状を改めて知らされました。相談員として東京民医連から5人のケアマネジャーにご協力いただきました。

#### 2つの駅前で「宣伝・署名」行動 共立医療会

共立医療会では11月10日、2つの駅前「介護署名」と「4項目緊急署名」の宣伝行動を行ないました。八王子駅北口行動(14:00～15:00)では友の会員含めて12人で行動、介護署名47筆、緊急署名53筆。参加者は、「数多くの老若男女が立ち止まって署名をしてくれた」「“有無を言わずさ年金からの保険料天引きはひどい”など、いろいろ会話ができてよかった」など感想を話してくれました。多摩永山駅(16:30～17:30)では友の会員含めて13人で行動、介護保険署名73筆、緊急署名62筆。大学生が、「祖母の介護をきっかけに介護に興味を持った。しかし、肉親だから介護できたが、他人だったらできなかったと思う。介護職員の方はすごいと思う」と署名してくれました。

(東京☆介護ウェブ2009ニュースNo. 36 2009年11月25日より)

#### 福岡民医連 11月11日「介護の日」各法人で宣伝行動等を取り組む(福岡)

11月11日「介護の日」の取り組みで、福岡県内8ヶ所で宣伝・署名行動を行いました。参加者は総勢125名、署名1,173筆、チラシ配布は1,129枚でした。各法人・事業所の取り組みを紹介します。

#### 「全事業所で介護職員の奮闘が目立つ行動になりました」(健和会)

【戸畑けんわ病院】介護職員が主体となりケアワーカー職場代表者会議でこの日の行動を企画しました。JR戸畑駅前、13人でおこなったりレトーク宣伝をおこないました。この宣伝のために自分たちで用意した原稿は、介護の話を道行く人々に聞いてもらえるように懸命に呼びかけていました。署名を129筆、チラシメッセージは320枚あまり配布しました。



11・11 いい介護の日

**【おさゆき病院】**介護職員8人が奮闘しました。病院玄関前、病棟での署名のお願いをおこない216筆もの署名を集めました。

**【大手町病院】**病床訪問、外来での署名よびかけを終日おこない300筆の署名を集約しています。私のメッセージも22筆集約しています。この日回れなかった病棟も後日訪問して行く予定です。

**【京町病院】**エル荊田前で職員7人での宣伝をおこないました。そのほか町上津役診療所などでも患者様へのチラシ配布、署名呼びかけをおこなっています。



### 「組合員とともに介護保険改善を訴え」(くるめ医療生協)

ゆめタウン久留米店前で、医療生協の組合員さん含む 14 人で宣伝しました。雨模様ということもあり署名は 14 筆にとどまりましたが、介護ウェブを組合員とともに運動を拡げていく計画です。

## 3法人・県連事務局が共同した「博多駅宣伝」に106名が参加！



JR博多駅博多口に、106名が参加しました。福岡医療団、NPO福岡地域福祉サービス協会(ひまわり)ちどり福祉会、県連事務局と一緒に署名宣伝をしました。博多駅はあいにくの小雨模様、この秋一番の冷え込みとなりましたが、リレートークで介護の現場の置かれた状況を懸命に話していました。

佐藤多恵さん(ちどり福祉会)は入職一年目の新人。職場の仲間と一緒に街頭宣伝の原稿を考えて自分の言葉で訴えようと準備を重ねてきました。「あっ緊張したぁー」と感想を話してくれました。また、ちどり福祉会の家族会からは4人の家族会員が参加し署名を呼びかけていました。利用者家族として高い介護費用の改善と職員の待遇改善を応援しようと介護ウェブに取り組んでいます。

佐藤多恵さん(ちどり福祉会)は入職一年目の新人。職場の仲間と一緒に街頭宣伝の原稿を考えて自分の言葉で



NPO福岡地域福祉サービス協会(ひまわり)は、おそろいのユニフォームとプラカードを準備しました。リレートークでは高宮英子さん(訪問介護)、清水清美さん(訪問介護)など多くの職員が思い思いに介護の改善を訴えていました。日頃から利用者さんの声を傾けて仕事をしている訪問介護事業所、使いやす

い介護保険制度とやりがいに見合った処遇の改善は切実な問題です。

福岡医療団はこの日が中堅以上の制度教育日にあっていたこともあり15時まで延長しておこないました。今村孝之さん(たたらりハ病院)は、街頭でマイクを握るのは初めてといいながらも介護職員の地位向上のために道行く人たちに署名を呼びかけ、両手にプラカードを持って宣伝をするなど奮闘していました。

(2009年11月25日 福岡民医連いい介護の日報告より)

\*親仁会の取り組みは、No.124で紹介しています



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp